

会 報

平成21年5月15日

てんりゅう



「瀬尻不動の滝」

国道152号龍山町瀬尻から市道を約4キロ上ったところにあります。
付近には駐車場・遊歩道が整備されており、遊歩道の210段の階段
を下りた四阿からは落差32メートルの瀑布を望むことができます。

会報てんりゅう 第94号

(社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562
編集・発行 広報委員会 題字 秋山錠介 FAX (053)925-6468
電子メールアドレス tenryu@aqua.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>

新所長就任挨拶

静岡県西部農林事務所

所長 内野 稔



この4月に西部農林事務所長として赴任しました内野です。よろしくお願ひします。

西部農林事務所管内のうち浜松市天竜区は、平成19年度から天竜農林局を配し、地域密着型の農林業行政を展開しています。

天竜区は、森林の占める面積割合が区域の91パーセントを占め、県平均の64パーセントに比べ非常に高く、いわゆる天竜林業地域が形成されています。この地域には県総人口の1パーセントに相当する約4万人が森林に囲まれて暮らしています。

このため、地域の人たちが安心

して暮らしていけるよう山崩れや土石流などから生命財産を守る治山や地すべり防止の事業を積極的に推進します。

さらに、地域の主要産業である農林業の生産性向上を図るため、農林道や作業道などの道路網の整備や農地造成を計画的に進めていく所存です。

また、災害関連の復旧作業は狭隘な山地での迅速な作業が要求されますことから、引き続き地元建設業界のご支援とご協力をよろしくお願ひします。

併せて、6月4日には富士山静岡空港が開港し、浜松立体花博などを契機に、国内外との交流も盛んになるため、地域がさらに輝く施策展開に努めます。

結びとして、会員の皆様のご健勝と地域の農林業の発展を祈念し新任挨拶とさせていただきます。

静岡県浜松土木事務所

所長 松山英達



この4月の定期異動により浜松土木事務所長に就任いたしました松山です。

よろしくお願ひ申し上げます。近年、建設行政についてはいろいろな意味で多くの県民、市民から注目されており、私たちを取り巻く環境は大変厳しいものがあります。

しかしながら県民の皆様方からの社会資本整備についての要望の声はますます大きく、当事務所管内におきましても県や市に対する道路や河川整備の強い要望を数多く頂いております。実際、まだまだ未整備の道路や河川が各所に残されております。

私たちは建設行政の一翼を担うものとして、県民の皆様の更なるご理解を頂きながら、さらに社会資本整備を進めていく必要がある

と感じております。

このため、今まで以上に効率的・効果的な事業執行を行うべく、集中的な投資や土木施設の長寿命化の推進、県民の皆様との「協働」による事業の推進など、工夫をしながら施策を進めてまいりますのでご支援・ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

私どもの仕事も皆様方の仕事も最後に目指すところは魅力あるふるさと造りであります。静岡県の中でこの北遠地域がいかに魅力を発揮できるか、貴協会の果たす役割も非常に重要であります。

地域に根ざした建設業の健全な発展は、住民の安心・安全を確保する上でも必要かつ欠くべからざるものであります。

会員の皆様方におかれましては確かな自信と強い信念を持って、引き続き地域発展のためにご尽力いただきますようお願い申し上げます。挨拶いたします。



浜松市土木部天竜土木整備事務所

所長 井邊志久



この4月の人事異動で天竜土木整備事務所長に就任いたしました。どうぞよろしく願います。

浜松市域全体の6割強の面積を有する天竜土木整備事務所管内は、山岳土木であり、山岳土木に精通した天竜建設業協会の皆様であることに、まずは安心していただけることとあります。

「安全・安心」の確保は、我々の責務であり、集中豪雨や地震等による想定されるさまざまな自然災害から地域を守るには、協会の皆様との連携や協力は不可欠です。

今、天竜土木整備事務所に課せられた主な課題は、中山地の急速に進む高齢化と過疎、限界集落等のなか、暮らしを支える国県市道の生活基盤整備はもちろんのこと、地域の拠点と拠点を結ぶ三遠南信

自動車道の現道強化当面活用区間とされる国道152号・473号の整備方針の確立、国道152号天竜工区の計画、国道362号の残された狭隘区間の整備への検討など課題は山積しております。

また、中山地の道路、河川等の維持管理するうえでも課題も多く、土木防災から見た、天竜建設業協会の「プロの目構想」もお聞かせいたければ幸いに存じます。

昨今の建設業界を取り巻く情勢は、大変厳しいものがあるかと思いますが、先が見えつつある三遠南信自動車道の建設など国の事業への夢も天竜区にはあります。

「地域のために」をモットーにする天竜建設業協会の皆様の団結力にご期待申し上げ、就任のご挨拶といたします。



私の安全パトロール日誌

安全指導員 森吉組(株) 吉田正一

日頃現場の安全管理には、格別の配慮をいただき大変感謝する次第です。

●安全パトロールでは、次のような項目に留意しています。

- ・車両等資格者証の携帯の有無
- ・重機の月別日常点検
- ・法肩での作業（浮石の有無、親綱使用状況）
- ・足場作業状況
- ・手すり開口部止め
- ・作業通路の手すり
- ・路面すべり防止の階段の取り付け
- ・地山点検等（雨のやんだあと、月曜日）
- ・発電機等アースの設置

●災害がなくなる背景には

日頃発生しているトラブルや軽度の災害が見逃され、職場の改善等に結び付けられないことがあげられます。

●災害防止を進める上での留意点として

- ・本社と現場との連携
- ・全員参加の取り組み
- ・先取りの安全管理

●心構えとして

今何をやるかを明らかにし、不備な状態と行動を早期に排除し、日頃より安全な施工が出来る作業場作りを目標に努力していただけたらと思います。

今後も皆様のご協力をお願いします。



MOTTAINAI

N・M

環境分野で初めてノーベル平和賞を受賞した、ケニア出身のワンガリ・マタイさんが世界に広げようとしている「もったいない運動」。

インターネットwikipediaで調べる
と...

もったいない（勿体無い）とは、仏教用語の「物体（もったい）」を否定する語で、物の本来あるべき姿がなくなるのを惜しみ、嘆く気持ちを表している。日本の民俗信仰である古神道を源流とする神道においては、「散る花びら」や「吐息の一つ一つ」にまで、命が宿るとされ、森羅万象に対して、慈しみや感謝の念を持つて接してきた。その心根が「もったいない」という価値観の根底に流れている。もともと「不都合である」「かたじけない」などの意味で使用されていたが、現在では、一般的に「物の価値を十分に生かしきれておらず無駄になっている」状態や、そのような状態にしてしまう行為を戒める意味で使用される。

「環境」とか「エコ」と言えば何でもかんでもOKという風潮はいかにも日本らしいと思うが、この「もったいない」には、もっと古い日本の心が残っている。

建退共制度！活用していますか？

安全・確実・有利（国が作った制度）

掛金は全額損金（必要経費）扱（注：外形標準課税）

国が掛金の一部を補助（初回交付手帳の50日分）

経営事項審査で加点（労働福祉の状況：15点）

平均利回り2.7%（掛金日額310円）

※掛金日額310円以前から加入した方はそれぞれの日額に応じた利回りで計算されます。

※公共工事では建退共の掛金が積算されます。

※公共工事民間工事を問わず労働日数分の共済証紙を貼る制度です。

- 退職金制度未加入の現場従業員には共済手帳の申請を！
- 労働日数分の共済証紙を共済手帳に貼り、250日分貼り終えたら手帳の更新を！（手帳の更新により積立られます）

これで従業員さんも安心！

お問合せ先 建退共静岡県支部 TEL：054-255-6846
(社)静岡県建設業協会内

ホームページ

建退共静岡県支部

検索

最近のキーワード

実績重視型 総合評価方式

国土交通省は暫定的な措置と位置付けながらも「実績重視型総合評価方式」を平成21年度の通常発注にも適用していく方針を示した。

同方式は、比較的技术的難易度が低い案件などを対象に、施工計画や技術者のヒアリングを省略

して、実績評価を中心に技術評価を行うもの。従来の簡易型では、公告から契約まで7週間を要するところを3週間程度に短縮できる。

既に同方式は、第二次補正予算の工事を早期発注するため導入を開始している。



建設ギャラリー

工事名称 平成20年度中山間総合（中山間・一般）天竜地区新切排水2号4工事
 工期 平成20年10月15日～平成21年3月27日
 発注者 静岡県西部農林事務所
 施工業者 片桐建設株式会社
 工事箇所 浜松市天竜区大栗安
 工事概要 排水路工 L=208m

アンカー式石積工（ラップストーン工法） 239m²

石積工（練積） 155m²

根継石積工 45m²



《スーパーバイザーから一言》

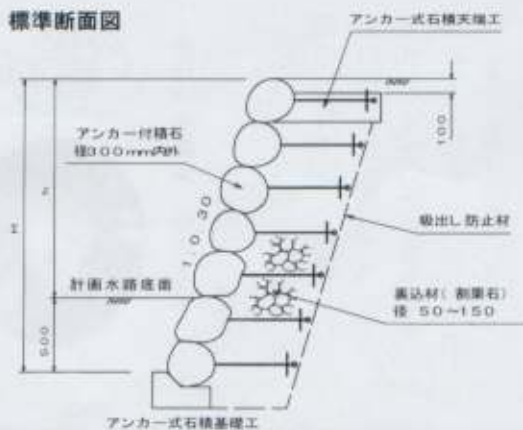
今回採用された工法は、据付が普通作業員、使用機械は15tトラッククレーンが基本となりますが、作業場所の条件により歩掛が異なるため、事前に監督員との十分な打ち合わせ、現場条件に合った工程の組み立てが必要です。

CO₂排出削減工法

ラップストーン工法とは？

ストッパーパネルを装着したアンカー部材と自然石を固定し、裏込材（割栗石φ50～150mm）を充填しながら急勾配に積み上げる『アンカー式空石積工法』です。

標準断面図



My Family

『乃愛翔空』



有限会社藤田建設

藤田美晴

長女 乃愛（のあ）4歳、長男 翔空（とあ）2歳を紹介します。乃愛は弟思いのやさしい子。翔空はお調子者で頑固。この頃は、いたずらを覚え、ニヤニヤしながら、何をしてやろうか考えてるみたいです。二人共、外遊びが大好きです。翔空は靴も履かずに飛び出して行きます。かと思うと靴を履いたまま家にあがってきたり、二人共、真っ黒になって帰ってきます。

乃愛は幼稚園が大好きで、習ってきたダンスや歌を披露してくれます。乃愛が先生になって翔空に一生懸命教えるのですが、翔空は自由奔放、真面目に教わるわけがありません。ここで、喧嘩が始まり、すぐに仲良くなつて、一緒に遊ぶんですが、見ていて、とても面白い。毎日が、泣いたり、笑ったり、怒ったり、すべてが愛らしく、この二人に癒される今日この頃です。

春野支店での生活は、まだ2週間余りですので、お客様の顔と名前がまだ覚えられておりませんが、早く覚えて信頼される職員になれるようがんばっていきたいと思います。又、日頃からお客様が御来店されやすいよう明るい笑顔と挨拶を心掛け、良い雰囲気のお店づくりに努めていきたいと思っています。

私生活では、友人とスノーボードへ行ったり、ショッピングや岩盤浴などにもよく行っております。

お宝発見

シリーズ第7回 秋野不矩 作「室戸岬」

～龍川建設(株)今場喜寿～

天竜建設業協会の応接室に飾られているこの絵は、地元天竜を代表する画家、秋野不矩さんの作品です。絵画の裏側には、昭和39年「室戸岬」とあります。秋野不矩美術館でもこの絵の存在を知ったのは最近のことでした。秋野不矩さんが天竜の協会にこの絵を持って来られたのは、詳細は不明ですが、不矩さんが京都・大阪に住んでいる頃で、当時協会がこの絵を受け

取ったのは初代会長、長谷川栄治郎氏と会計理事の寺田富一氏と伺いました。この時、不矩さんは天竜協会に泊まっていたけれど、当時協会の一切を賄っておられた田光かつえさんは、その夜に不矩さんからインドの話やいろいろな話を伺い、とても関連な方だという印象をもたれたそうです。



Coffee Break



遠州中央農協 春野支店

吉田 愛さん

私は、4月から遠州中央農協春野支店へ配属され、窓口係として働いています。入社して4年目になりますが、少しずつ仕事の内容にも慣れてきたように思います。

(社)静岡県建設業協会の広報誌「けんせつ静岡」の「わが街ウォッチング」に浜松市天竜壬生ホールが掲載されています。アドレス → <http://www.sizkk-net.or.jp/magazine/235/>